

山田みやこの活動報告

令和8年5月22日（金）

連合議員懇談会主催の講演会

ジェンダーギャップ解消を行政・企業・地域を挙げて実践してきた
豊岡市の前市長 中貝宗治さんをお迎えしての講演会

演題は 小さな世界都市を創る ～ローカル&グローバルの挑戦～

地方最大の課題は人口減少対策⇒地方創生に

人口減少は緩慢なる大災害とも言える

豊岡（地方）で暮らす価値は？若者、特に女性に選ばれていない

そこで、

人口規模は小さくても、世界の人々から尊敬され尊重されるまちを創る

グローバル化の進展で世界は急速に同じ顔になっている

そこで、

豊岡を世界に通用する「ローカル」に磨き上げる

「小さな世界都市」を実現するために

- 1) 環境都市「豊岡エコバレー」の創造
- 2) 受け継いできた大切なものを守り、育て、引き継ぐ
- 3) 「深さをもった演劇のまち」の創造
- 4) 「ジェンダーギャップ」の解消



- ・野生復帰最大のねらいとしてコウノトリ「も」住める豊かな環境
水田の自然再生でコウノトリ育む農法を確立

しかしそこまでになるまで、

コウノトリ野生復帰事業への批判や農薬使用問題等様々な対立があった

しかし、未来に目を向けるために対話を行ってきた

農家と市職員との対話、自然の理に適った農法で命に満ちた田んぼを創る

- ①農薬に頼らない農法の確立
- ②米のブランド化
- ③流通との連携

コウノトリ育むお米の誕生

本県の上三川町NPO法人民間稲作研究所 故稲葉光國さんの指導・協力

- ・演劇をまちづくりに活かす

市内公立小学校1.2年生 演劇ワークショップを非認知能力の向上の為の取組みに

豊岡市に県立芸術文化観光専門職大学開学

演劇がなければ豊岡に大学はできなかった

演劇がなければ学生たちは豊岡にやってこなかった

大学誘致の経済効果大きかった

- ・基盤づくりはそれなりにやってきたが、若い女性が帰ってこない

経済的・文化的魅力に乏しく、根強いジェンダーギャップが存在
女性たちの「静かな反乱」

女・子どもは黙ってろという文化のところに女性・若者は帰ってこない

女性たちは公平な扱いを求めている

母親の姿を見ていて、ここには自分の人生はないと思った、

大学進学を待ちわびるようにして自分のまちを去った

そこで、ジェンダーギャップ解消を地方創生戦略の標準装備に

- ・女性職員の生身の人間としての悔しさ、憤り、あきらめに気付く
- ・ジェンダーギャップは私たちの社会に様々な弊害をもたらしていて、極めて不都合・不公平・不平等
- ・市内の企業の経営者・人事担当者のセミナー開催し、無意識の偏見に気付き、組織風土や行動を変えていった
- ・ありたい姿に向けてふみ出す女性を育成
管理職に占める女性の割合54%に
- ・女性であろうと男性であろうと働きやすく働きがいがあり、生きやすく生きがいのあるまちにする
- ・ジェンダーギャップの問題を置き去りにしているような、まちと企業、国
世界で輝くはずがない

経済的にも文化的にも、社会的にも「突き抜けておもしろいまち」を創る

※中貝さんの実践ひとつひとつじっくり対話を重ね、数字で表わし、納得いく方法を合意するということに、トップとしてのやり方を大変尊敬いたします。また、メディアや各界の著名人との交流が実践には大きく影響していると感じた。広いネットワークがカギとなっている。